

報道関係各位

2014年4月2日

## 賃貸建物管理の業務効率アップと災害時の対応スピードアップ タブレット端末を1,500台導入

大東建物管理株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：門内仁志）は、賃貸建物の管理業務効率化及び、災害発生時の迅速な対応を主な目的とし、このたびタブレット型端末を全スタッフに配備（2014年3月現在1,500台）し、運用を開始いたしました。

### ■ 増加し続ける管理戸数に対し、業務効率とセキュリティアップを図る

全国約84万戸（居住用及び事業用建物・2014年3月末現在）の賃貸建物を管理する大東建物管理では、マンションやアパートの建物オーナー様へ、建物の巡回記録や定期清掃などの管理業務、入退去時のメンテナンス業務など、現場の写真を含めて日々報告しております。今回のタブレット配備で管理現場の画像やデータを、リアルタイムで取り込むことが可能となり、業務効率が一段とアップいたします。また、データは全てクラウド上でコントロールし、情報セキュリティにも配慮しています。

また、今回タブレット配備と同時に、小型のモバイルプリンターも導入し、管理現場で業務を進めることが可能となりました。

#### 【タブレット導入の効果】



- 巡回管理で発見した建物の破損箇所は、素早く修復工事に着手し、建物の保全を図る。
- 必要な資料や画像をその場で入力・撮影・保存及び、正確にデータが更新でき、業務効率の向上につながる。
- 外出先で物件の最新情報が確認でき、組織全体で円滑な管理体制を組むことが可能となる。
- 入居者様やオーナー様に、画像を使って部屋や建物の状況をよりわかりやすく説明することが可能となる。
- 小型モバイルプリンターで、お客様向けの各種帳票をその場で印刷しお渡しできる。

### ■ 災害発生時には効率的な支援活動が重要。管理スタッフの機動力に期待

災害発生に対し、社員やお客様の安否確認、被害状況の情報収集を迅速に行い、その情報を共有し伝達していく機能が強化され、本部での災害対応の意志決定を早め、適切な支援活動を実施いたします。

今後も入居者様に『安心・安全・便利』をお届けするため、管理サービスの向上を図ってまいります。  
以上

<この件に関するお問い合わせ>  
大東建託株式会社・経営企画室  
TEL (03)6718-9068